

株式会社ゴーエスト

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR渋谷ビル13階
TEL 03-5766-8060
FAX 03-5766-8061

株式会社日本福祉総合研究所

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR渋谷ビル13階
TEL 03-5766-8070
FAX 03-5766-8071
一般労働者派遣事業 許可番号:販13-304532

社会福祉法人どろんこ会

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR渋谷ビル13階
TEL 03-5766-8050
FAX 03-5766-8051

株式会社南魚沼生産組合

〒949-6416
新潟県南魚沼市大木六37
TEL 025-788-0840
FAX 025-788-0841

株式会社Doronko Agri

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR渋谷ビル13階
TEL 03-4363-5651
FAX 03-5766-8061



社会福祉法人どろんこ会(本社 運営部)は2016年4月1日
「保育サービス提供」でISO9001:2015の認証を受けました。
(認証登録番号:C2025-01049)

施設写真協力 ©Shigeo Ogawa



どろんこ会グループの施設は、
環境マネジメントシステムの国際規格
「ISO14001:2015」の認証を受けています。
取得施設についてはこちらをご覧ください→



Doronko コーポレートサイトはこちらから



新卒採用サイト



中途採用サイト



Doronko

子育てから世界は変わる。

ANNUAL REPORT 2024

どろんこ会グループ アニュアルレポート2024

インクルーシブ保育のフロントランナーとして
子どもたちに質の高い保育・教育を
-走り続けるDoronkoの2024年度-



スタッフの「にんげん力」が高まった2024年度

2024年度はスタッフの「にんげん力」の高まりを感じた一年でした。どろんこ会グループではかねてより、子どもたちが生活力を体得できるような活動に力を入れてきました。針仕事や工具に触れたり、火や水、土に触れる活動を通じ、危険なものとの距離の取り方を教えることを大事にしています。とはいっても、生活力を身につけなさいといつて身につくものではありません。子どもたちが直接触れることのできる環境構成が重要となります。

例えば、日々の給食のご飯を、園庭にぬか釜を出して炊いている園もあります。ぬか釜で炊くには杉の葉やもみ殻に火をつける必要があります。火との距離の取り方も「指導」ではなく、日々の生活の一部の中で体得していくのです。

今、全国の各施設で、施設長、主任、そしてスタッフが試行錯誤しながら工夫をして環境構成をしています。また、言葉で子どもを動かすのではなく、日々の生活の中でスタッフが背中を見せてきたからこそその結果だと感じています。



株式会社日本福祉総合研究所 代表取締役
社会福祉法人どろんこ会 理事長



株式会社ゴーエスト 代表取締役
株式会社南魚沼生産組合 代表取締役
株式会社Doronko Agri 代表取締役

施設長自身が「インクルーシブ保育のフロントランナー」へ

どろんこ会グループが長年続けている命をいただく活動についても同じことが言えると思います。魚をさばいていた大切なのは全施設で当たり前に行なっていましたが、2024年度は、実際に飼育している鶏をスタッフが自ら絞めてさばけるよう、スタッフ主催で研修を各所で開いて、実践につなげていきました。現場自体が進化していると感じられる一年でした。

また、私たちが長い時間をかけてバージョンアップを重ねてきた性教育やインクルーシブ保育について、複数の施設長が北海道、茨城県、広島県などの保育団体や自治体に講師として招かれて研修や講演を行いました。業界全体が今までの保育から次の時代に合った保育へと脱皮していく過程にかかわることができたと感じています。これは施設長自身の学びや成長の場ともなりました。こうした現場のスタッフが語れるようになったことは、「インクルーシブ保育のパイオニア」である法人から、施設長が「インクルーシブ保育のフロントランナー」に変わった年とも言えるでしょう。

Do coffeeの販路拡大へ

私たちは就労継続支援事業において「福祉作業所で働く障害者がつくっているコーヒーだから」ではなく、あくまで「商品そのものの良さが認められて」世に流通し、就労支援事業所の利用者が稼げるようになることを目指しています。まずはどろんこ会グループ内の保育園や児童発達支援施設が近隣との交流の際のお礼に使うなど、社内での循環を促進してきました。

2024年度は、社内から社外へと販路を広げることができました。例えば株式会社ヘラルボニーとの共創をはじめ、株式会社東上セレモサービスのレストランでの提供も決まりました。また、HRソリューションズ株式会社の記念式典では贈答品に選ばれ、Heartkids'LIFELINKのクラウドファンディングの返礼品にご利用いただくなど、Do coffeeの認知度を徐々に高めることのできた一年でした。

私たちは引き続き、東京都で一番工賃の高い事業所を目指し、利用者の方にはさらなる達成感と喜びを感じながら仕事にまい進してもらえるようさらに環境を整えてまいります。



▲パラリンアートカップ2024受賞作品をあしらった特別パッケージ

子育て・就労支援・農業・旅行循環する取り組み

農業の取り組みにおいても新たな動きのあった年でした。株式会社Doronko Agriは2024年8月に農地所有適格法人エムズ水楽園ファーム株式会社（埼玉県上尾市）を合併しました。食の安全性を追求し、高品質な野菜を真摯に作るという思いが一致し、共に事業を発展させていくことで合意し、フルーツトマトの生産を始めました。一方、各施設の給食に使えるよう流通経路も整えた一年となりました。現在、玉ねぎ、にんじん、じゃがいも、さつまいも、栗、白菜、レタス、大根、スイートコーンなどを栽培していますが、子どもたちに安心安全な給食を届けられるよう、さらに品種と量を増やしていく予定です。

株式会社南魚沼生産組合では、ジビエの解体加工施設とクラフトビール醸造所の工事を順調に進め、2025年度に完成を見込んでいます。

2024年度は旅行事業部も発足させました。保育、発達支援、就労支援、農業の経験をフル活用し、子どもや大人の成長を後押しする学びの場となるような旅行プランの提供を始めました。

どろんこ会グループは引き続き子育てを起点として、人も食も仕事を循環させることで、0歳から人生を終えるその時まで、全ての人が「生きる力」をもってよく生きられる社会を創ることを目指します。



▲施設長による講演の様子

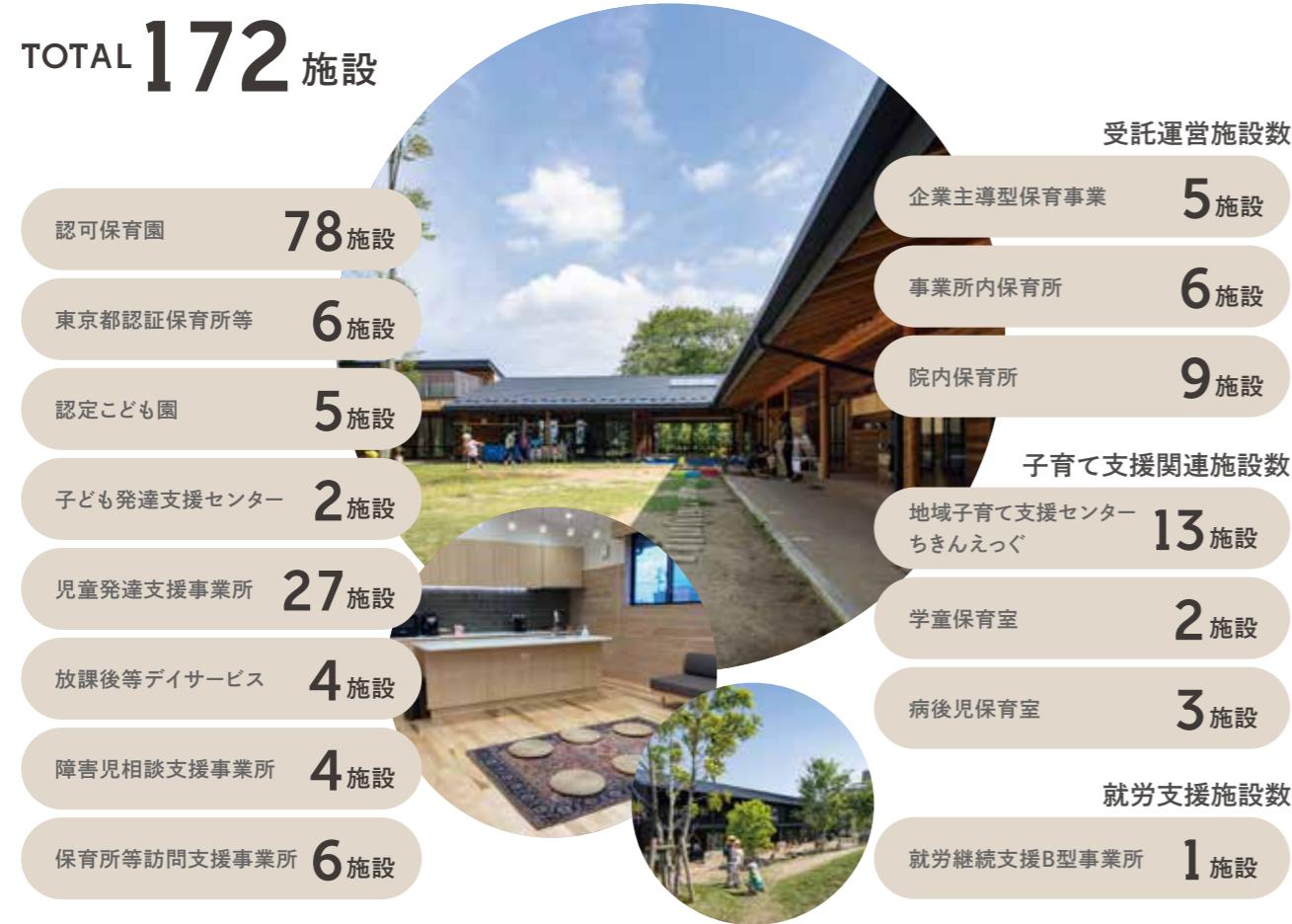
数字で見るどろんこ会グループ

*2025年3月時点

株式会社ゴーエスト | 株式会社日本福祉総合研究所 | 社会福祉法人どろんこ会 | 株式会社南魚沼生産組合 | 株式会社Doronko Agri

2024年度運営施設数

TOTAL 172 施設



new

運営施設のうち、2024年度新規開所施設数

認可保育園 2施設	認定こども園 2施設
子ども発達支援センター 1施設	児童発達支援事業所 4施設
保育所等訪問支援事業所 2施設	

2024年度までの
民営化(民間移管)実績

11 施設

2024年度までの
インクルーシブ施設実績

17 施設

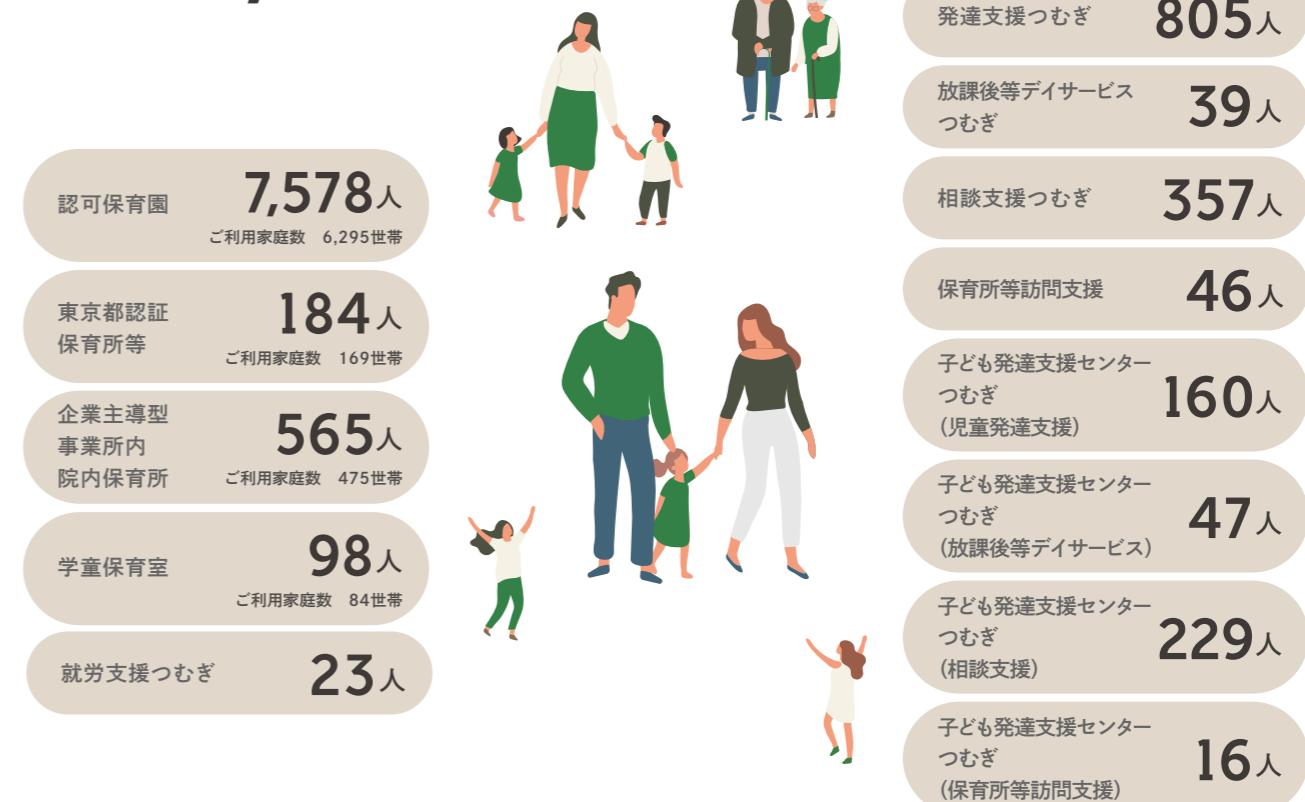
東大和どろんこ保育園

東京都初の
併設施設
認可保育園
子ども発達支援センター

人も食も仕事も循環する事業活動を行っています。

施設利用者数

TOTAL 10,147人

＼ 2024年度 /
Doronkoでイチバン〇〇!

97歩

縁側が長い!



一宮どろんこ保育園

84羽

鶏が多い!



朝霞どろんこ保育園

6m

築山の高低差が
大きい

前原どろんこ保育園

!?

太陽に近い!?



JAXAほしのこ保育園

数字で見るどろんこ会グループ

*2025年3月時点

株式会社ゴーエスト | 株式会社日本福祉総合研究所 | 社会福祉法人どろんこ会 | 株式会社南魚沼生産組合 | 株式会社Doronko Agri

全ての人が「生きる力」をもって、よく生きられる社会のために、

人も食も仕事も循環する事業活動を行っています。

2024年度

TSUMUGI CAFE 武蔵野

(就労支援つむぎ 武蔵野ルーム)

来店者数
3,003人

オリジナルスパイスカリー販売数

2,849皿

コーヒー店内販売数
2,105杯コーヒー豆販売量
613kgパウンドケーキ販売数
4,310個パウンドケーキの味
18種プレーン味の他、レモンや金柑、
アップルティなど季節の味も!栗販売数
155kg

ポーランド製直火式自家焙煎機

2024年度

食材や食の循環・環境への
意識を育む環境教育どろんこ卵販売数
12,067個鶏の世話は、
子どもたちの日課

DO coffee roastery

2024年度 スナックつむぎ
(株式会社南魚沼生産組合)コーヒー
店内販売数

233杯

オリジナル
スパイスカリー販売数

228皿



2024年度

減農薬コシヒカリの生産

(新潟県南魚沼市)

耕作面積

42.7ha

(東京ドーム約9.1個分)

3・4・5歳児
田植え・稻刈り体験ツアー田植え
514人稻刈り
447人MTM (南魚沼 田んぼ 見守り隊)
職員有志の取り組み代掻き
28人田植え
97人稻刈り
74人TOTAL
199人

2024年度 野菜の生産

耕作面積

埼玉県日高市・桶川市・上尾市

5.0ha

東京都西東京市

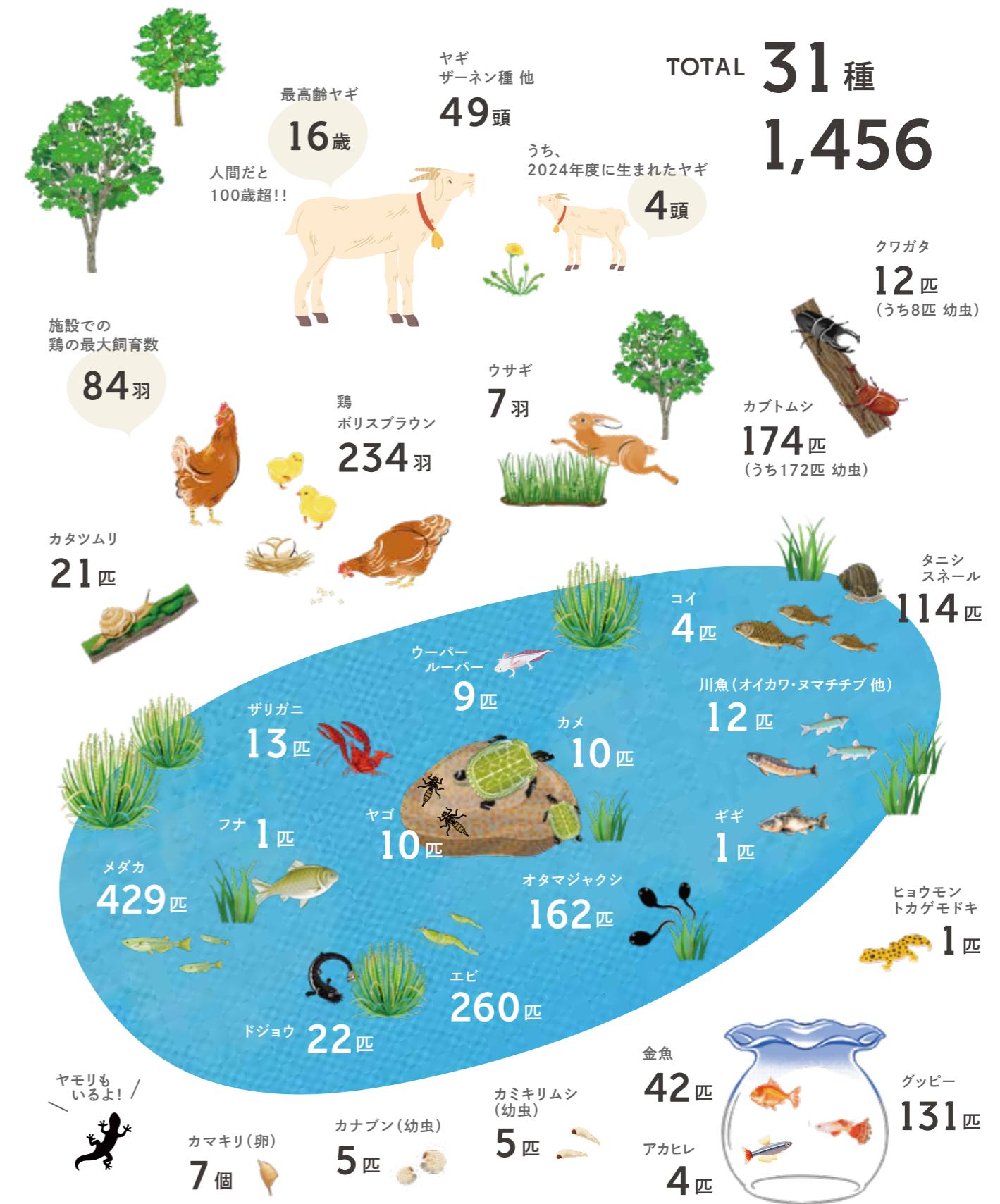
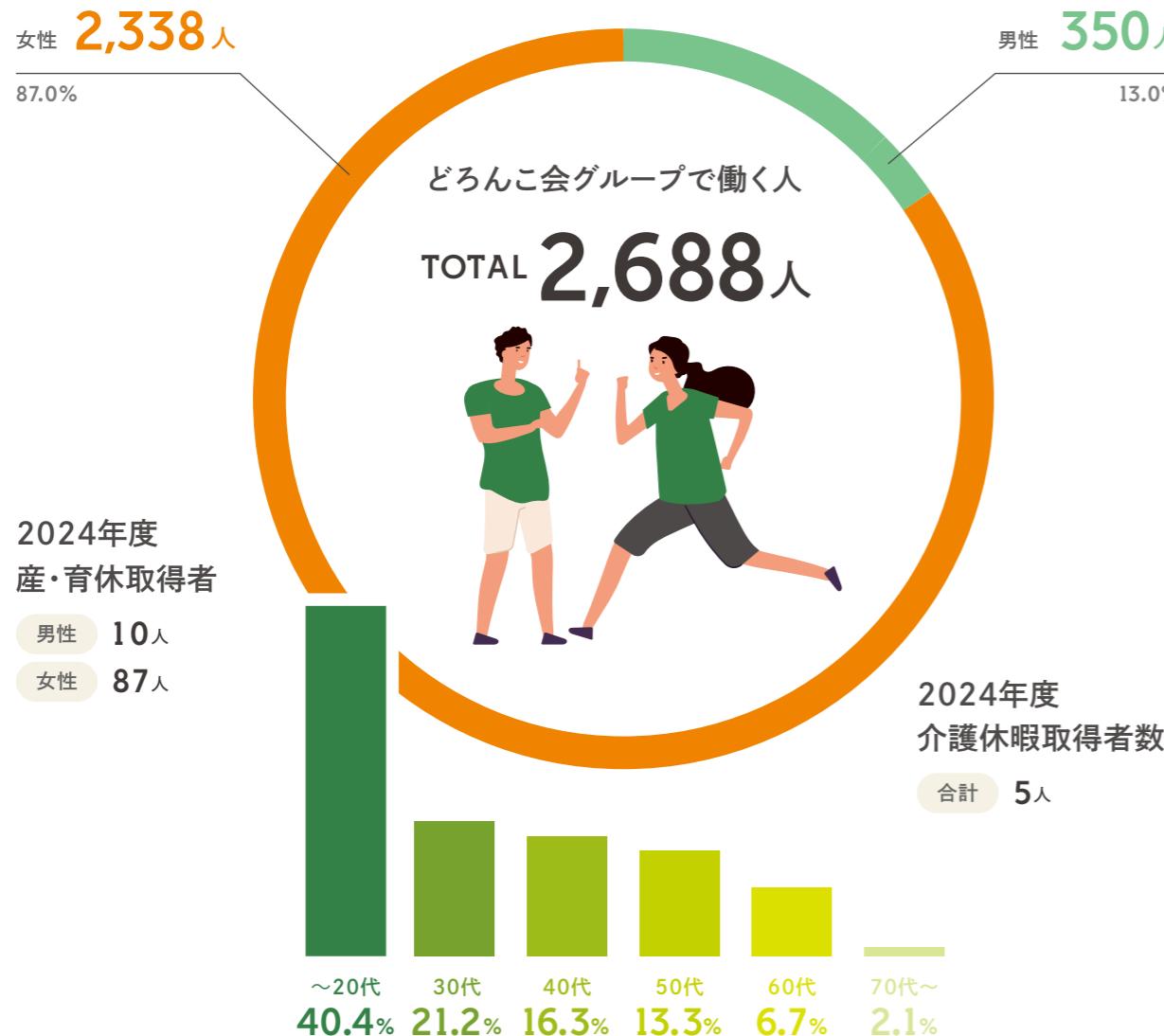
TOTAL
0.3ha
5.3ha

0.3ha

TOTAL
5.3ha

どろんこパーソンと生き物たち

*2025年3月時点



※その他、医療的ケア児コーディネーター、自閉症スペクトラム支援士、防災士、認定絵本士など多様な国家・民間資格を持つスタッフが在籍

社内外の取り組み

*2025年3月時点

幼児教育・教育者の育成を通じて、保育業界を「学び続ける」業界へ
質の高い保育、幼児教育の学びのプラットフォーム
「園長大学® 保育士大学」2024年度開催の
東京都保育士等キャリアアップ研修

開催回数 40回 参加人数 1,128人

2024年度開催の社内研修

子育ての質を上げる会議	12回	施設長勉強会	12回	児童発達支援管理責任者会議	12回
主任会議	12回	事故防止委員会	12回	どろんこ会グループ会議	12回
保健・食育会議	4回	新入社員フォローアップ研修	8回	新卒内定者研修	1回

パラリンアートカップ2024 冠スポンサー契約を締結



パラリンアートカップは、あらゆるスポーツを対象に作品を募集し、現役プロアスリートが選考する唯一の障害児・者のアートコンテスト。

どろんこ会グループは「障害者の自立を支援する」趣旨に賛同し、パラリンアートカップ 2024 の冠スポンサーとなりました。



2024年度の社外広報実績 (一部抜粋)

2冊の書籍を発刊準備!
2025年4月20日発刊

メディア掲載実績

性教育・インクルーシブ・多機能化など特色ある保育

媒体名	対象
【性教育】幼児にも必要?おちんちんとおっぱいになぜ興味?異性のカラダを知るとは?親はどう教えるべき?	ABEMA Prime
保育所『男児は車、女児は花』見直し マークや声かけ配慮	日本経済新聞
【共に】障がいのある子もない子も共に同じ仲間として学び合うインクルーシブ保育『every.特集』	日本テレビ「news every.」
放課後インクルーシブ 共に過ごせる居場所づくりの実践	教育新聞

スタッフの活躍

媒体名	対象
社会福祉法人どろんこ会の「日本の保育を変える」想いとメンバーが「自ら動く」環境に迫る	ミライのお仕事
元バーレー首位打者(65)が明かす第二の人生「コツコツやるのは得意です」	デイリー新潮
ひと輝く「首位打者、セカンドキャリアは保育士 還暦過ぎて夢実現」	日本経済新聞



講演・研修・視察

自治体向け

主催	登壇者
令和6年度児童発達支援講演会 「なぜインクルーシブ保育が必要か。どう実践するか」	茨城県古河市 安永理事長 八山田どろんこ保育園施設長
令和6年度廿日市市保育研修障害児保育 『統合保育』から『インクルーシブ保育』へ	広島県廿日市市 学び事業部 特任教授 黒川裕子
日々の保育でできる乳幼児期の性教育	札幌市私立保育連盟 東大和どろんこ保育園施設長

事業者向け

主催	登壇者
インクルーシブ保育・教育シンポジウム	第4回日本小児リハビリテーション医学会学術集会 安永理事長

海外向け

主催	登壇者
日本のインクルーシブ保育	フランス チャイルドケア専門家視察団 子ども発達支援センターつむぎ 東大和

学生・保護者・地域向け

主催	登壇者
なぜ今必要か、どう実践するかインクルーシブ保育	東京未来大学 安永理事長・八山田どろんこ保育園施設長 香取台どろんこ保育園施設長
園や家庭で始める乳幼児期からの性教育	どろんこ会グループ広報部 東大和どろんこ保育園施設長
なぜ保育教育も就労もインクルーシブへシフトするのか	郡山健康科学専門学校(文科省委託事業) 安永理事長
北区まなびステップアップフェスティバル基調講演 「人生100年時代の学び直し」	東京都北区教育委員会 大豆戸どろんこ保育園 高澤秀昭
福祉×農業。地域や日本を良くするための私たちの挑戦	広尾学園スーパー・アカデミア 最先端と最前線の超一級講座 高堀代表
～実習前に知っておきたい・実習後にも学んでおきたい～ 園児の性的行動の対応方法	どろんこ会グループ広報部・人事採用部 子ども発達支援センターつむぎ 浦和美園 施設長

受賞歴

主催	登壇者
第18回キッズデザイン賞～子どもたちを産み育てやすいデザイン部門～	特定非営利活動法人キッズデザイン協議会 香取台どろんこ保育園
第5回SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞 農林水産・食の部	公益財団法人 岩佐教育文化財団 株式会社南魚沼生産組合